



玄報

しがや

7月15日

昭和58年(1983) No.693

編集

越谷市役所企画部広報広聴課

1日・15日の
毎月2回発行



よく自転車に子どもを乗せて散歩します、と鈴木さん

元気いっぱい
夏いっぱい

しらこばと水上公園が、先月26日にオープンしました。今年は、あいにくまだ暑い日が少なく、にぎわうのはこれから。オープンに先がけて、19日には無料開放をしました(写真)。好天に恵まれ、たくさんのチビッ子たちが、元気いっぱいに泳ぎまくりました。夏休みには、多くの人出でにぎわいます。(8面に臨時バス時刻表掲載)

恥ずかしい話ですが、田植えや稻刈りを、間近で見たことがなかつただけに、どうやってやるのかも知りませんでした。越谷に来て初めて教えられました。季節感も肌で感じじれ、年中行事のいろいろな催し物も、少しずつ覚えました。

越谷に住んでやつと6年。最近になってやつと、方角とか地区名がわかりかかってきました。以前の所からこちらに来たばかりの時は、夕方になると、怖くて一歩も家から外に出ることができませんでした。越谷がわかつてから、子どもにも恵まれ、最近は自転車に乗せていろいろと散歩し、自然なり環境に恵まれたことを、ほんとうに幸せだなあと、つくづく感じます。

今度、越谷にりっぱな図書館が出来て、楽しみが増えました。子どもたちもいっしょに連れていて、自然に本に触れる場ができるました。越谷をよく知るためにも、自分もやさしい本から読んで、子どもから越谷の歴史などを質問されても、せめて答えるれる母親になりたいと思います。そのため、これから『わたしたちの郷こしがや』を読んでいきたいと思います。

子どもですから、純粹さはどの子どもにも残っているはずです。その小さな心のどこかに残っています。気持ちを、大事に見いだしてあげたいと思います。学校側や先生方がだけ責められないような気がします。

私も子どもが小さいから、いつしょに一年生のつもりで、しつかり子どもたちと勉強していくつもりです。道徳とかは、家庭内でも親たちが、しっかり教えていきたい。もちろん、家族全員で協力して、心がけも必要だと思います。

谷を愛して

越谷と わたり

「越谷とわたし」は、あなたのコーナーです。みなさんの投稿をお待ちしています。字数は900字程度です。 広報広聴課

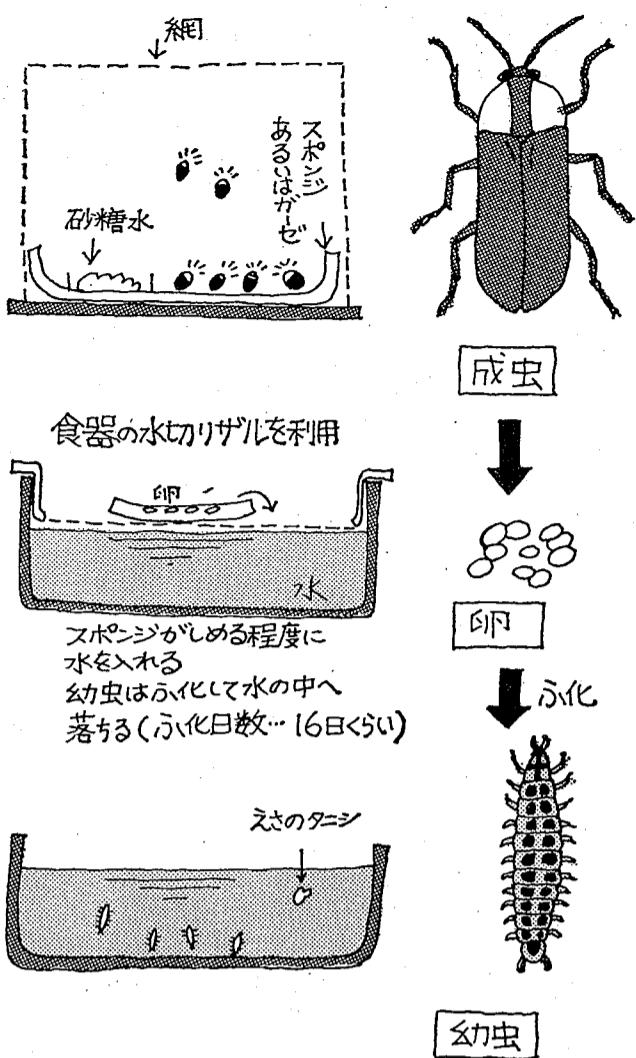
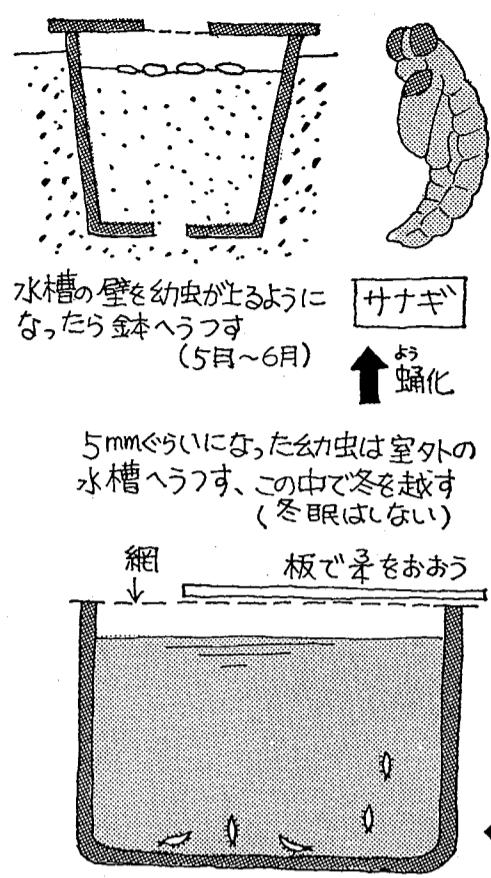
市の人口

(昭和58年7月1日)

基本台帳

		前月比
総人口	23万8890人	496人増
男	12万0531人	209人増
女	11万8359人	287人増

飼育法図解



第一回市民環境賞は、市内瓦曾根に住む大学生伊藤祐一さんの「越谷に螢を飛ばすために」に決まりました。伊藤さんとホタルの出会いは高校1年のとき。以来、7年間研究を続けてきましたが、人工飼育すれば卵の80%近くを成虫にでき、1年で10倍以上に増えることがわかりました。また、10万匹のホタルを越谷に飛ばすことができるというもので、市の環境面からも貴重な報告です。

環境に目を向けていく契機に…

清らかな川の流れと豊かな緑、そしてどこまでも続く青い空の広がり。だれもが愛せるふるさとにーー。市民の一人一人が、越谷の環境に目を向けていく契機に。さ

ら、環境に目を向けた市民の活動の輪が地域から地域へと広がっていよいよ。こうした願いから設置された「市民環境賞」です。第一回は市民の中から25点の作品が集まり、伊藤祐一さん(21歳)の「越谷に螢を飛ばすため」が選ばされました。

今回優秀賞に選ばれたら点の作品を紹介しますと、「あさがおとなかよし」(浦生南小1年全員)、

「家庭から出される排水の研究」

(宮本小 大友修・竹生田洋一・

藤枝正浩)、「市内河川調査」

(武藏野中科院学部)、「越谷市内の緑地調査」(越ヶ谷高校生物地

学部)の作品など、いずれも貴重なものばかりでした。とくに若い人の作品が目立ちましたが、現在から将来展望しており、明日の越谷のまちづくりに真剣に取り組もうとする意欲をしのばせるものでした。

その中から伊藤さんの作品が市民環境賞に選ばれたわけですが、選考委員会でも「ホタルを通して

市民と自然の調和を図ろうとする秀作」「水と緑と太陽のまち越谷」のスローガンを実現するには最適のテーマと絶賛されました。また、「このまま何もしなかつたら、越谷市から緑が完全消滅するのにあと何年もかかるだろう」という危機感をうつした越谷高校生物地学部の「越谷市内の緑地調査」も、市内の緑の現状報告として大きく評価されました。ところでの報告では、市民ぐるみの植樹を呼びかけていますので、活動の広がりに期待がもたれます。それでは伊藤さんの作品を紹介しましょう。

「越谷に螢を飛ばすために」

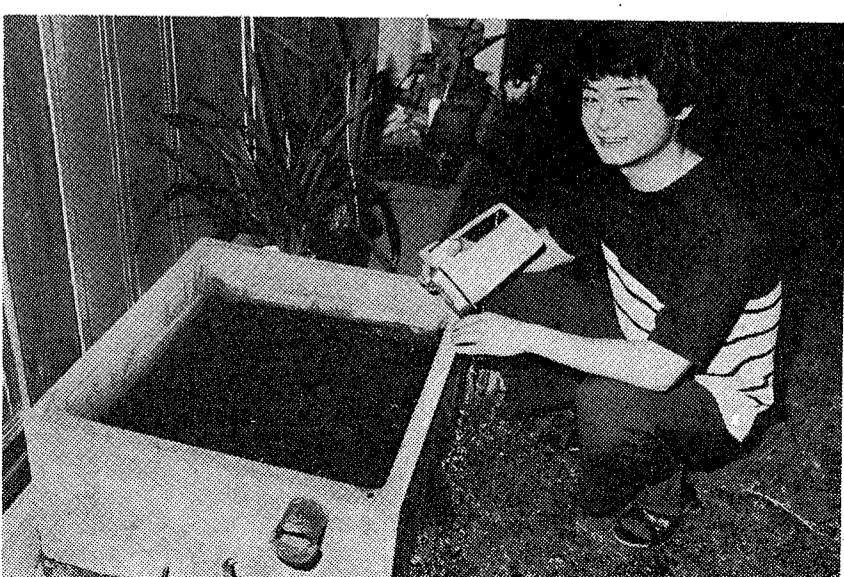
(伊藤祐一さんの作品から)

私は、平家ボタルの人工飼育法を確立し、庭に小さいホタル池を掘るところまで研究しましたが、池の防水工事を行っていないため掘るところまで研究しましたが、池の防水工事を行つてないため池の水はすぐ引いてしまいます。そこでホタルを入れずに八条用水から捕つてきたタニシなどのえさを貯えるのに使っています。現在300匹ほどのホタルを水槽で飼育していますが、数千以上の大規模な飼育は個人で行うのは時間的にも無理です。大きなホタル池を作り数十万匹のホタルを越谷の町に光らせるようなことは、市や小、中学校で実現させていたいと思います。

ホタルを飛ばすためにはどうしたらよいでしょう。現在ホタルが残っている新方地区では、夏になると近くの住宅地の人びとがホタル狩りをしてしまいますが、ホタル狩りをしてしまうのですが、ホタル狩りをしてしまったホタルを増やすところまではいかないでしょう。

たよりで、草刈をしない、宅地化しないなどの保護策をとらなければなりません。しかし、そのような保護策は地主や付近の人びととの協力が得られなくては不可能なことですから、実現はなかなか困難なことでしょう。

環境記念のつどいで発表



平家ボタルの飼育は案外簡単にできますから、ホタルを飼育しようという人が増えています、と伊藤祐一さん

収入基準早見表

単位:円

扶養家族	種別		
	第2種	第1種	特別(上尾シラコバト田地)
0人(単身者)	0~1,705,999	1,706,000~2,631,999	—
1人	0~2,121,999	2,122,000~3,040,001	3,040,002~3,595,001
2人	0~2,535,999	2,536,000~3,402,501	3,402,502~3,957,501
3人	0~2,949,999	2,950,000~3,765,001	3,765,002~4,320,001
4人	0~3,317,501	3,317,502~4,127,501	4,127,502~4,682,501
5人	0~3,680,001	3,680,002~4,490,001	4,490,002~5,045,001
6人	0~4,042,501	4,042,502~4,852,501	4,852,502~5,407,501

給与所得者1人	種別		
	第2種	第1種	特別(上尾シラコバト田地)
0人(単身者)	0~1,044,000	1,044,001~1,692,000	—
1人	0~1,334,000	1,334,001~1,982,000	1,982,001~2,426,000
2人	0~1,624,000	1,624,001~2,272,000	2,272,001~2,716,000
3人	0~1,914,000	1,914,001~2,562,000	2,562,001~3,006,000
4人	0~2,204,000	2,204,001~2,852,000	2,852,001~3,296,000
5人	0~2,494,000	2,494,001~3,142,000	3,142,001~3,586,000
6人	0~2,784,000	2,784,001~3,432,000	3,432,001~3,876,000

事業所得者1人

扶養家族

給与所得者1人

事業所得者1人

扶養家族

給与所得者1人

扶養家族

給与所得者1人